

一般財団法人 本山町農業公社

組織形態：市町村農業公社

取組範囲：本山町全域（一部事業は町外を含む）

法人設立：平成6年6月27日

所在地：長岡郡本山町北山甲 268-5

資本金等：1,000万円（本山町900万円、JA100万円）

役員：理事9名（常勤1名）、監事2名

従業員：正職員8名、臨時職員3名



本山町の棚田

事業内容

・作業受託：水稻育苗3千枚、耕耘9ha、田植15ha、稲刈38ha、畔塗

米乾燥調製他

・種苗事業：野菜苗14万1千本

・農業生産：水稻8ha他

・集荷販売：米

・製造販売：農産物加工品（牛すじ煮込み、弁当、おむすび他）

・特産品普及事業：一次産品の販路開拓、加工品販売、加工品開発他

資本装備（主に町所有施設を利用）

・施設等：種苗ハウス、米乾燥調製施設、籾殻処理加工施設、農機具格納庫他

・機械等：半自動接木ロボット、水田センサー、アグリノート他

活用した主な補助金等

- ・国事業：地域 I o T 実装推進事業、農山漁村振興交付金、中山間地域所得向上支援事業、農の雇用事業
- ・県事業：複合経営拠点支援事業

設立の経緯

農林業を中心とした地域づくりを進めるため、本山町の有する豊かな地域資源を活用した特産品の開発及び販売促進事業、農林業の作業受託及び委託事業、新規就農者を育成する研修事業等、農地の有効利用と幅広い地域振興施策を実施する。あわせて、これらの施策に取り組む本山町内外の各種団体及び住民等が連帯を図る際の中核となり、活力ある地域の創造と住民の福祉の向上を図ることを目的として設立された。

事業戦略

本山町の農産物等のブランド化による農業者の所得向上（「本山さくら市産地間連携プロジェクト」「農作業受委託事業強化」と、「次期経営者の育成」）による組織体制の強化を目指す。

取り組みの特徴

水田センサーやアグリノートなどの I o T を活用した効率的なほ場管理、農業者の所得向上のために、天空の棚田米などのブランド化の推進に取り組んでいる。



水田センサー

令和5年4月現在